



より魅力ある広島女学院を目指して 「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」

理事長 中川 日出男

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無事終了した。コロナ禍の中、当初は開催に反対の意見も数多くあったが、いざ開催されるとメディアを中心に盛り上がり、世界からも大会は成功だったと評価されている。

今回の大会でパラリンピックの競技を見る機会があったが、見ていて数多くの感動を貰った。両手のない卓球選手、どうやってサーブをするのか見ていると、ラケットを口にくわえて、足の指でボールをさみトスしてサーブする。このシーンを見ていて胸が熱くなった。ここまでできるのは我々の想像を超えた練習と工夫があったはずだ。水泳選手も同様だ。手がないと溺れるのではないかと心配になるが、足のキックだけで見事に泳ぐ姿には体が震えるほどの感動を覚えた。車いすバスケットボールでは、一般のバスケットと同じ高さ、同じ広さのコートで、素晴らしいロングシュートも決める。陸上競技では義足の選手が目を見張るような記録を出していた。そこに至るまでには選手たちの並々ならぬ努力があったに違いない。

副題に掲げた言葉はパラリンピックの父と呼ばれるイギリスの病院で医師をしていたグッドマン博士の言葉だ。選手の中には生まれた時から障がいをもったアスリートもいる。人生の途上で障がい者になったアスリートもいる。パラリンピックのアスリート達からは、まさにグッドマン博士の言葉が意味するところ、つまり、今持っているものを最大限に生かして人生に挑戦しているように思われた。もちろん競技用具の改善や周りのサポートも必要だ。ボッチャ個人で金メダルを獲得した杉村選手は、前回のリオ2016パラリンピック競技大会で5位とメダルに届かなかった反省を踏まえ、日々の練習と共に競技用具、特に車いすの改善に取り組んだ。これは従前の折り畳み式車いすだと投球の瞬間わずかに車体がきしんでコントロールが乱れることがあったからだ。杉村選手は今大会を見据え、メーカー協力のもとフレームが完全に固定された仕様に変えるとともに、重心を安定させるためバッテリーやペダルの位置、材質など、細かな改善・調整を行うことで、精密機械のような投球技術を得ることができたとのことだ。

グッドマン博士の言葉を見ていて、ふと感じたことがあった。我が広島女学院のことだ。我々は、博士の言葉のように今ある資源を最大限生かす努力をしているだろうか。資金も潤沢ではない。少子化の影響により18歳人口も減少傾向にある中で、無いものねだりをしてもしようがない。広島女学院には、学院に集う園児・生徒・学生という大きな財産がある。またそこに寄り添う熱い思いを持った教職員、多くの同窓生、保護者の皆さま並びに学院に関わる全ての方々に支えられている。

なんとしてでも今あるものを最大限活用してより魅力ある広島女学院を目指していかなければならぬ。そのためには、教職員一人ひとりが、何が活用できるのか、どうすれば園児・生徒・学生たちに魅力を発信できるのか、引き続き創意工夫しながら懸命の努力をしなければならない。創立からの長い歴史を振り返ってみると、常に順風満帆な時ばかりではなく幾度と試練の時を与えられてきた。教職員一人ひとりのさらなる一層の奮闘と本学院に関わる全ての方々のご支援、ご協力をお願いしたい。



アイリスガーデン

整備記念式に参列して

6月21日、正午過ぎは梅雨とは思えない晴れ渡った青空に、太陽がまぶしく輝いていました。「アイリスガーデン」バス整備記念式には最適の天候でした。式典はキリスト教の礼拝形式ののっとり多くの関係者の見つめる中粛々と進められました。

今まで、正門をくぐり道路を渡り切ったところに都心方面行き「女学院大学前バス停」がありました。狭い歩道にあつたため、下校時、バス待ちの学生が路上にあふれ、何とかしなければ危険だと対策が急がれる状況でした。そこで、新たなバス停を建てる計画が立ち上がり、市道に面したキャンパスの一部約200㎡を広島市に譲渡し、そこに建てることとなりました。同時に、隣接していたアイリスインターナショナルハウスを解体し、その跡地約490㎡に学生が集う憩いの広場を建設するための整備も始めました。

ゆとりのある空間が確保されたバス停は、屋根付きベンチ付きの快適な停留所へと一新されました。一方、広場のほうは学生自治会が提出したプランを参考に、人工芝を全面に敷き、パラソル付きのテーブルとイス、HJUの文字を形取ったオブジェ型ベンチ等を配置しました。

そして、肝心の広場の名称は懸賞を付けて学生から募集することにしました。数多くの応募が集まりましたが、その中で、日本文化学科3年生の平嶋あいさんと管理栄養学科3年生の田中愛子さんの二人が個々に提案した「アイリスガーデン」が採択され、式典の中で名称披露がなされ、あたたかい拍手が二人に贈られました。

会場に張られたテントの下には大学関係者、大学協力会の代表の皆さんに加え、東区区长、地域の福祉協議会会長、町内会長等、地域の代表者が席に着き、その後ろには駆け付けけた報道陣が並び、今後の大学

活性化につながる「アイリスガーデン」の竣工を見守りました。「アイリスガーデン」は学生の憩いの場所や学内イベント会場として活用するのは勿論、近隣の皆さんに開放し、地域貢献の一助になればと願っています。春には駐輪場北側の桜が満開となり、花見にはうってつけです。夏になると朝のラジオ体操の会場にも使用できるでしょう。秋は学園祭やフリーマーケットが催され、大勢の人で賑わうことが予想されます。活用の夢が膨らんでいきます。

最後に、新しいバス停からキャンパスを望むと、図書館とヒノハラホールが堂々とした佇まいを見せ、見事な風景が展開します。一度、そのパノラマを味わってみてください。

(学長 三谷 高康)



学生向け食糧支援について

大学では昨年11月より、コロナ禍でアルバイト減などの影響を受けた困窮学生たちのために、学内で食糧支援を行ってきました。

昨年11月、本学と関わりの深い日本キリスト教団広島牛田教会(以下、牛田教会)が困窮学生に心を寄せ、物品を募って支援を申し出くださったことに端を発し、12月21日からは学生課と宗教センターがこれを引き継ぎ、3月22日まで教職員の寄付による食糧品等と支援金から購入した物品、公益財団法人マツタ財団よりいただいた非常食を配布しました。またこの間の感染拡大に伴う遠隔授業時には、牛田教会に物資受取所を引き受けていただき、その際に重ねて物品のご支援もいただきました。今年度は教職員からの募金の他、学生自治会からの支援、大学予算(学長裁量費)や大学協力会予算からの支援も賜り、5月19日〜7月28日まで支援を行いました。当初から数えて通算25回、延べ約500名が利用しました(個人を特定しない形での実施のため概数)。利用した学生からは「一番困っている時に助けられた」との声を聞かれました。



皆さまの思いに触れるたび、ゲーンズ先生が困窮した市民のために働きになったことが何度も思われ、本学に流れる建学の精神をひしひしと感じました。お心を寄せてくださった全ての方々に感謝申し上げます。

(共通教育部門 宗教委員 前田 美和子)

The World Comes to Us —学生による異文化交流イベント—

7月7日(水)に学科の学生による国際交流イベントを実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行が続き、本学科は2021年度も全ての海外研修プログラムについて派遣を見送ることになり、このような状況で、国外に行くことができないのであれば、国内でできることがないか学科で模索してきました。そのひとつ、「The World Comes to Us」と題して、学内で英語や他の外国語を交えて異文化に触れるイベントを行うことにしました。

第一回の今回は、GSEコース2年生のDanushi Thamanjaleeさんに母国スリランカを紹介してもらいました。まずはスリランカの歴史や国の成り立ち、文化について英語で話してもらい、その後スリランカの仏教の祭り「Vesak」で用いられる伝統的なランタンの作り方を教えてもらいました。参加した学生たちはランタン作りに少し苦戦していましたが、思い思いの色紙を選んで作ったオリジナルのランタンの出来栄に満足した様子でした。

Vesak ランタン

作りは、毎年のお祭りの時に子供から大人まで家族みんなで集まっておしゃべりしながら作る、家族にとって大切な行事だということです。現在、人々との交流に制限がある状況が続いていますが、今回のイベントで学生たちが Vesak ランタンを囲んで新しい文化を知り、そして交流を持てる貴重な機会になりました。

(国際英語学科長 磯部 祐実子)



全国大学生俳句選手権に18名が入賞

2020年度第3回全国大学生俳句選手権(鈴木しづ子顕彰プロジェクト実行委員会主催)に、45名の日本文化学科の学生が応募し、その4割に当たる18名が入賞しました。全国の大学生を対象に開催されている大会で、このように多くの学生が入選するという結果は、日本文学を学びの柱の一つに据える学科として、たいへん喜ばしい出来事でした。



俳句選手権を活用した取り組みは、日本文化学科2年生の必修科目である日本語概論Iで行っています。授業では、文法や語彙など、日本語学の基礎的内容を学ぶだけでなく、日本語の特徴を体験的に考えるという内容を取り入れています。俳句を作るという試みはその一環として行っているもので、季語という語彙の奥深さを知るために、俳句をお互いに批評し合いながら、さらにより良い俳句にしていく行為は、「伝え合う力」の向上にもつながります。

受賞者からは、「授業で学んだ成果が実りとても嬉しいです」などの感想がありました。最後に受賞句のなかから2句、紹介します。テーマは「学校生活」でした。コロナ禍で、授業方法も変わり、大学祭も中止となりました。

白墨の なつかしきにほひ 夏の空 石原桃花作
手を引かれ 母と歩いた 祭り路 須澤麻衣作

2021年度の授業でも、「恋」というテーマで応募しました。現2年生は、その結果を楽しみにしています。

(日本文化学科 柚木 靖史)

産学・地域連携「まちのミニコミュニティハウスプロジェクト」 ついにミニコミュニティハウスが完成しました

トータテ都市開発が手掛ける住宅地(牛田早稲田三丁目)に建つ地域住民、トータテ、大学・学生たちとの交流施設の設計に学生たちが取り組んでから早3年、審査で選ばれた最優秀作品「長屋台」が今年5月について完成しました。作品名は長い屋台という意味で、その名の通り、東側の広場に面して、屋台としても使える木製の台がついた大きな開口部が3つ並びます。建物西側は菜園を臨む大きな開口部とテラスが備えられています。建物完成後は地域の方々、トータテと話し合いながら、その具体的な使い方を検討していく予定です。

7月には生活デザイン学科建築士課程の2年生、3年生が完成見学会に参加し、先輩の設計案が実際に建ったコミュニティハウスにどのように反映されたのか、関係者から話を聞きました。コミュニティハウスの今後の活用方法を学生たちに聞いたところ、学生が制作した作品や衣装の展示、学科の学びに関連したものづくり体験など、コミュニティハウスを通して学科や大学についてもっと知ってもらいたいという意見が寄せられました。

(生活デザイン学科長 小林 文香)



管理栄養士国家試験 合格率91.9% 食物アレルギーの子のデイキャンプオンラインで開催

昨年度の卒業生が今年2月に挑んだ、第35回管理栄養士国家試験は62名中57名が合格し、合格率は全国平均の91.3%を上回る91.9%の好成績となりました。先の見えないコロナ禍の中、日々の学修には多くの困難を伴いましたが、現状に向き合い学生一人一人が前向きに努力を重ねてくれました。管理栄養士としての今後の活躍が楽しみです。

また8月29日には、「食物アレルギーの子のデイキャンプ」が初のオンライン形式で開催され、東京や岡山など県外からの参加もありました。今年で12回目となるこの活動は、本学科の妻木陽子准教授が中心となり、大学、医療機関、NPO法人が連携した全国でも数少ない取り組みです。妻木ゼミの4年生と3年生有志がボランティアで参加し、食物アレルギーを持つ子どもたちや保護者向けにオリジナルレシピの紹介や食育ゲーム、何でも相談できるおしゃべり会などを行いました。7大アレルギーを除去した料理のレシピは、パンフレット以外にも動画を作成して紹介。おしゃべり会では、保護者の皆様からお子さんの食事の悩みや家庭での工夫について、生の声を聞くことができ、学生たちは管理栄養士の役割の大きさを改めて実感する機会となりました。

（管理栄養学科長 市川 知美）



プルプルチョコプリン の作り方(QRコード)

故戸田浩暢先生を偲んで

2021年6月13日未明に戸田浩暢教授が天に召されました。57歳でした。1月下旬に、病気が見つかり、約半年間の厳しい闘病生活の末のことでした。児童教育学科の教員及び学生一同が喪失感に包まれたことは言うまでもありません。

戸田先生は、広島大学教育学部卒業後、呉市立横路中学校、広島県立江田島高等学校、広島県立賀茂高等学校で社会科教諭として豊かな実務経験をおもちでした。また、広島県教育センターの指導主事として小学校教諭の指導も担ってこられたキャリアを活かして、2007年4月に本学に就任されました。この年は、幼児教育心理学科の設立の年にあたり、戸田先生は設立スタッフの一人として重要な役割を果たされました。

まず、初年度から、初等教職課程主任として、幼稚園・小学校の実習を統括する業務を連続12年間担当されました。また、「小学校教育実践研究会」を立ち上げ、元小学校校長の曾川昇造先生を講師にお迎えして、小学校教員を目指す学生のための研究会活動を開始してくださいました。筆記試験の分析や徹底した模擬授業の実施、面接試験対策や学生の気持ちのケアを含め、小学校教員を目指す学生たちが主体的に学ぶ場となる場を創ってくださいました。その結果、私たちの学科は、1期生から11期生までで109名の小学校教員を輩出することができ、学科になりました。小学校教育実践研究会4年の土橋可鈴さんによると、戸田先生は、学生以上に「小学校教諭になれる」と信じて本気で応援しておられ、その熱い思いが強く伝わっていたそうです。

私たちがなすべきことは、戸田先生が一途に駆けぬけてこられた14年間の足跡から学ぶことです。戸田先生、これまでどうもありがとうございました。これからもうか、広島女学院大学を見守り続けてください。

（児童教育学科 教授 森保 尚美）



2021年度

春季宗教強調週間報告

今季宗教強調週間は、昨年来継続するコロナ対策を前提としたプログラムとして計画し、5月18日(火)の「キリスト教の時間」および翌19日(水)の特別講演会のみを行うこととしました。4月以来、感染状況の落ち着きから授業とチャペルプログラムは対面での実施がなくなってほっとしておりましたが、その後の感染拡大による入構制限のため、宗教強調週間プログラムはいずれもビデオ配信での実施となりました。

「キリスト教の時間」では講師として日本キリスト教団広島流川教会牧師(4月より本学院理事もつとめてくださっている)、向井希夫先生をお迎えし『平和への第一歩』と題してお話いただきました。先生は、戦時中のキリスト教会の「戦勝祈禱会」や原爆投下成功を祈った従軍牧師の例を挙げて「愛敵」の困難を示しつつ、だからこそキリストは「敵を愛する(IIたいせつにする)」ことを説いたのだと、優しく教えてくださいました。

特別講演会は九州ルーテル学院大学学長の広渡純子先生を講師にお迎えし、『ゾウに生まれて嬉しいゾウの歌』多様性は神様からのプレゼントと題してご講演賜りました。昨年春季以来、三度目の正直がかなって来広することを先生も願ってくださいましたが、惜しくも配信での実施となりました。しかし、先方の学長室から、まるで視聴する者一人ひとりに直接ビデオ通話で語り掛けてくださっているかのようなご講演は、示唆に富み、心を深く揺さぶられる内容でした。先生が歩んでこられた道のりについてのお話、まどみちお作「ぞうさん」がたたえる深いメッセージについての説き明かし、神の創造というテーマに込められた祝福についての教えは、今この困難のなかを生きる学生たち一人ひとりの魂が求めている神様からの慰め、励ましであったように思います。

両先生が与えてくださったこれらのメッセージを胸に、今しばらくこの苦難を耐え忍び、希望を紡いでまいります。

（大学宗教委員長 澤村 雅史）

中学・高校

Junior high school & High school

秦野様寄附金事業報告

2019年12月に、ご寄付をいただきました。

秦野寿和(すわ)様は、高等女学校第52回卒業生であり、中学高等学校の数学科教諭を勤められました。また、お母様秦野たろ様は、高等女学校第28回卒業生、妹様向井淑子様は、高等学校第2回卒業生です。この三人皆様からのご寄附として、次の3事業に使用させていただきます。

1つ目は、中学校舎内図書館の改装・図書備品の購入、2つ目は、高校チャペルのパイプオルガンの新規設置、3つ目は、中学校舎の外壁塗装工事です。

今年度4月の始業より、改装された図書館の運用を始めました。「ことば」を大切にすることは、中高の教育の根幹です。美しく心休まる空間となった図書館は、生徒たちが「ことば」に深く出会う場となっています。

5月からは、高校チャペルでの学年礼拝で、パイプオルガンの演奏が始まりました。朝の礼拝で聖書・讃美歌に触れることから一日が始まる、広島女学院の一番大切な時がこのパイプオルガンの音色で包まれます。

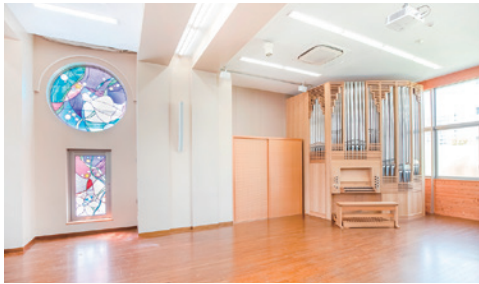
現在、中学校舎の外壁塗装工事を施工中です。真白くなった校舎を見るのを楽しみに待っています。真白く

秦野様の広島女学院を愛する気持ちを私たちも受け継いでまいります。

(校長 渡辺 信一)



図書館



パイプオルガン(高校チャペル)

中1学年オリエンテーション

中1では、4月入学の日から5月中旬テストまで「関係づくり」を中心にクラスや学年の活動を行ってきました。入学後にオリエンテーション①を行っていますが、4月27日(火)・28日(水)にオリエンテーション②を行いました。オリエンテーション②の1日目は、他学年が遠足のためホール・体育館・特別教室などを贅沢に使って活動しました。宗教オリエンテーションでゲーンズ先生について学び、校内の慰霊碑見学で女学院の被爆について知り、HR委員企画の学年アクティヴィティは学年全体で楽しみながら他のクラスの友だちと名刺交換をして交流し、クラス活動の同級生インタビューではクラスメイトのことを知り新しい自分を発見することもできました。二日目は、比治山のゲーンズ先生の墓所で墓前礼拝を行ってグリーンピアせとうちに移動し、同級生インタビューをもとにした「自分を語る」の原稿を書き、その後クラス対抗のドッジボール大会を行いました。オリエンテーション後、5月1日(土)のLHRでは「自分を語る」をクラスのみんなの前で読みました。今年の中学1年生と学年会の教員は、毎日元気に登校して、全力で行事を楽しみ、全力で学校生活を楽しんでいます。

(中1学年主任 重松 純)



レクをしながら名刺交換



ゲーンズ先生墓参

中2遠足(4月27日)

中2は密を避けるために学年全体を2つに分け、ゲーンズ先生のお墓と安佐動物園を訪れました。ゲーンズ先

生のお墓では、礼拝委員が花を供え、全員で黙とうを捧げました。また、安佐動物園では、事前に班で見て回ることを決めておいた動物のスケッチ・観察を課題研究の一環として取り組みました。広場で班ごとに昼食をとったり、園内を自由に散策したりしてクラスの親睦を深めることができました。

(中2学年会

前本 日向子)



中3遠足(4月27日)

中3は「みよし風土記の丘」と「みよしあそびの王国」へ行きました。バスレクができない中、クラスごとにDVDを鑑賞して楽しんだバス移動で一日がスタートしました。

風土記の丘では本物の古墳や復原された古代住居・石室などを実際に目の前にして感動し、民俗資料館では周辺地域の歴史や古墳から出土した土器や短剣などを見ることができました。

あそびの王国では昼食をとったのち、たくさんの遊具で童心に返って遊びました。大きな滑り台やタワーガンロープは中学生になってもとても人気があり、順番待ちが出来ました。また、今回は特別に三次きんさいスタジアムに入ることができ、プロ野球の試合も行われたグラウンドの芝生の感覚やベンチの感触を体験しました。天候にも恵まれたおかげで暑くてクタクタになりましたが、新しいクラスの友達と親睦を深めるよい一日になりました。

(中3学年会 羽座 健太)



高1オリエンテーション

4月26日(月)から27日(火)にかけて、高1オリエンテーションを行いました。テーマは、「自分の将来について考える」です。よりよい高校生活を送るにはどうしたらよいかをHR活動を通して2日間考えました。初日はグリーンピアせとうちに行き、進路指導部長の久保先生から、高校生活や授業、日々の学習に必要な心構えについての話を聞きました。そして、中3の時に書いた自分史を読み「自分を語る」原稿を書き上げ、各クラスで一人ずつ発表を行いました。一人ひとりが自分自身を語り、友人の話に真剣に耳を傾け、もらい泣きしたり、一緒に笑ったりとクラスで大事な時を過ごしました。二日目は校内での活動として、保護者の方からの手紙を読み丁寧に返事を書きました。その後は、ダンスの練習とHR委員企画のドッジボール大会。みんなの元気な声がグラウンドいっぱい響き渡りました。今年の学年目標は「自ら咲く」です。私たちには考える力と心が与えられています。どこに目を向けるか、自分の立つ場所はどこかをじっくりと考え、小さくても良いからそれぞれの花を咲かせて欲しいと願っています。保護者の皆様には手紙を書いていただくという大切な部分にご協力いただき、心から感謝申し上げます。

(高1学年主任 長谷川 史)



「自分を語る」



ドッジボール大会

高2遠足(4月27日)

高2は尾道を訪れました。その時の様子をホームルーム委員の生徒がまとめましたので、以下ご覧下さい。昨年以來コロナ禍により、多くの行事が中止延期となる中、今年には感染予防対策をしっかりと行い、尾道へ遠足に行くことができました。私達の学年は両女学年と呼ばれるほど天候に恵まれない学年ですが、今回の遠足は雲ひとつない晴天の元、尾道散策をすることが叶いました。青空と青い海、青々と茂った自然が広がっていて日頃の煩いなど一瞬で忘れられるほど素晴らしい景色でした。現地では、グループごとに尾道の名所を訪れたのですが、道が分からなくなつた際は、地元の方々が優しく教えてくださり、人々の温かさを感じられる遠足でした。さて尾道といえば尾道ラーメン!!豚の背脂を浮かせた醤油ベースのスープと平打ち麺の相性は最高で、女子でも一杯ペロリと食べられるほど美味しかったです。久々の遠足を楽しむ女学院生の姿はとても輝いていました。これからある様々な学校行事もみんな楽しんでいきたいです。

(高2学年会 加藤 弘輝)



高3遠足(4月27日)

高3は遠路はるばる秋吉台サファリパークと秋吉台展望台に行きました。片道2時間半、自然豊かなカルスト台地の爽やかな風に吹かれて散策し、サファリパークで餌やりバスに乗り込みライオン達に餌やり体験。なかなか餌に気付いて貰えなかったり、横からトンビに餌をかつさらわれたり、トラに振り向いてもらえなかったりと、普段見ることも出来ない動物たちと触れ合い、子ヤギやレッサーパンダの可愛さに癒された一日でした。

(高3学年会 俵 倫子)



高校体育大会(5月8日)

例年とは違い、中高グラウンドで規模を縮小して開催できることになった高校体育大会。競技は、学年種目として、高1はダンス、高2は長縄、高3はムカデ競争。個人で希望して参加する種目として、参加交代、玉入れ、クラス対抗リレー。有志生徒による、応援団のダンス。そして体育大会の華、五色対抗リレーでした。高1ダンスは、体育の授業で短時間で仕上げたにもかかわらず、息の合ったダンスができていました。高2長縄は、いつもよりグループの人数を少なくしていたためか、例年になくハイレベルな戦いとなりました。高3ムカデ競争のクラスで団結した姿は、さすが高3と感じさせるものでした。

応援団のダンスは、短い準備期間でしたが工夫を凝らした衣装もダンスも素敵でした。観戦している生徒からの惜しみない拍手がやむことはありませんでした。ラストの五色対抗リレーでは、クラスを代表して走った生徒の頑張りやとテントで応援する生徒の姿で大盛り上がりでした。

今年度は縮小して中高グラウンドで行うというはじめての形の上、練習等の準備も不十分でした。しかし、多くの生徒が協力し、また、臨機応変に対応してくれたおかげでスムーズに運営することができました。そして、感染症対策への意識も高く、今後の行事開催の検討への好材料となりました。と思います。イレギュラーな形での体育大会でしたが、生徒の皆さんの笑顔を見てみると、開催できてよかったと心から感じました。

(保健体育科 今田 英樹)



平和を祈る週(6月14~19日)

19日(土)の特別礼拝では、本校留学生に日本語を教えている二口(ふたくち)とみゑ先生から、被爆ピアノとその持ち主だった河本明子さんのことを話していただきました。

二口先生は、近所に住んでいた明子さんのお母様と親しくなり、引越後、取り壊されることになった家に残された被爆ピアノを譲り受け、『明子さんのピアノ』を通して平和を伝える活動をされています。

明子さんは戦前、アメリカで生まれ、6歳でピアノと共に広島に戻り、広島女学院附属小学校に入学。女学院の音楽教師クーパー先生からピアノを習い、礼拝の演奏も担当したようです。やがて戦争が激しくなる中、ピアノどころではない日々が続きました。広島女学院専門学校(現大学)3年生だった19歳の時、動員先の税務局(現在の合同庁舎付近)で被爆。何とか自宅にたどりつきましたが、翌日、息をひきとりました。

三滝の自宅にあったピアノは、原爆の爆風で側面に無数のガラスが突き刺さりました。60年の歳月を経て蘇った被爆ピアノは、平和を伝えるコンサートなどで演奏され、中国新聞の連載やNHKの番組でも紹介され、平和公園レストハウスに常設展示されることになりました。平和資料館に寄贈された21冊の日記には、明子さんの学校や家庭での喜びや悩みが生き生きと綴られています。またお父様が記された育児日記から、どれほど慈しまれて育てられたかがしのべれます。

最後に二口先生は、被爆ピアノの演奏の一部を聞かせて下さり、「この音を聞いて、お友達とケンカしたくなりますか? 優しい気持ちになるでしょう? そういう気持ちで平和へとつながっていくのだと思います。」と語って下さいました。

週中の昼休み、中学では、世界的ピアニスト、ピーター・ゼルキン氏による被爆ピアノの演奏を放送で流しました。高校では、NHKのドキュメンタリー番組『Akiiko's Piano』被爆したピアノが奏でる和音(おと)を、視聴しました。



8・6平和記念礼拝(被爆76周年)

毎年8月6日午後に行われる8・6平和記念礼拝は、コロナのため各家庭でのオンライン視聴となりました。

広島市平和記念式典の一部を視聴し、8時15分の黙祷に続いて、中学YWCA部のハンドベルの前奏、金信美幸先生(中高聖書科講師、同窓会幹事)のメッセージ、高1の中川風音さんによる追悼のこぼなど、女学院の生徒・教職員350余名と原爆犠牲者を追悼し、平和を祈る礼拝を捧げました。

金信先生は、原爆投下時、礼拝直後に被爆した専門学校1年生のことを伝えて下さいました。礼拝の中で印具徹先生が、入学したばかりの新生に「愛」について真剣に話されたそうです。愛の大切さを学んだ直後に、原爆で命を奪われていった学生たちのことを思うと、何とも言えない思いにさせられました。

金信先生ご自身は、妊娠8ヶ月のお母さんのお腹の中にいたので、直接原爆を体験した記憶はないが、九死に一生を得たご両親から聞いたご家族の被爆体験と、戦後の厳しい生活についても伝えて下さいました。

最後に「ハチドリの一ひとしく」という話を紹介されました。火事になった森からみんなが逃げ出す中で、ハチドリだけはくちばしで水のしずくを運んでは火にかけていました。「そんなことをして何になるんだ」と笑う動物たちに、「わたしは、わたしにできることをしているだけ」と答えたというのです。そして、「私たちが小さくても、平和の種をまき続けるものとなれますように」と祈られました。

なお、このオンライン礼拝は、卒業生や例年8・6来校し礼拝に参加される学校の生徒さんも視聴可能として、ホールに集えないながらも、遠くの人々とも平和への祈りを分かち合うことができました。

また、午前中の同窓会主催の平和祈念式でも、高1の中川風音さんが追悼の言葉を述べ、式の中で中学生が作成した千羽鶴を捧げました。

(宗教教育委員会)

刀祢館 美也子



女学院クリスマスのお知らせ

日時 12月17日(金)18時00分~19時30分(17時30分開場)

場所 中高ゲインズホール

※コロナの状況により中止となる場合があります。

在校生・保護者・卒業生・本校志望者とその保護者の方、一般市民の方々など、どなたでもご参加いただける公開クリスマス礼拝です。牧師先生のメッセージ、生徒による朗読、パイオルガン、ハンドベルなど。共にクリスマスをお祝いいたしましょう。

入場は無料ですが、席上で献金へのご協力をお願いいたします。国内外の施設やNGOなどに寄付いたします。

なお、コロナの感染状況によっては、昨年同様、中止となり、高校礼拝の一部をオンラインで配信する可能性もあります。直前にHPにてご確認ください。

(宗教教育委員会)

中高文化祭のお知らせ

今年度の文化祭は、「passion」をテーマとして11月に開催予定でしたが、緊急事態宣言が延長され、十分な準備期間が確保できないため、3学期の2月9日・10日へ延期となりました。

今年度は、残念ではありますが、一般公開は行わず、校内の生徒教職員のみで文化祭を行います。今年しかできない文化祭を一丸となつて作り上げたいと思います。

(高校生徒会顧問 古川 由希子)



ポスター 高校1年 江種日和



パンフレット 高校1年 千野史織

幼稚園

2021年9月10日は、幼稚園の誕生をみんなでお祝いしました。園で行う誕生日会においても、園児一人ひとりの大切な記念日をクラスの仲間、そして保護者の方も一緒に神様に感謝し成長を祝う時を持っています。

今年、幼稚園は130周年を迎え長く尊い歴史のバトンを受け取り、多くの方との繋がりの中で豊かな歩みを与えられています。今から130年前、『ゲーンズ園長、甲賀主任、松浦教員が、13名の園児をはじめて迎えた』日です。これまで不明であった保育のはじまりの日が、この度、私たちの姉妹園である関西学院幼稚園からの情報提供により判明しました。こちらから積極的に尋ねていけば、もっと早くに特定できたはずですが、神様がこの時をお選びになられたのだと受け止めています。130周年の何よりの贈り物です。祈り、つながり、支えていくくださる皆様に感謝し、これからも幼子と共に歩み続けてまいりたいと思います。

(幼稚園主事 古重 歌織)

花の日ウィーク

幼稚園では、身近な野に咲く花の存在に心を寄せて過ごす6月中旬の1週間を、花の日ウィークとよんでいます。摘んできた花を飾って観察したり、花を使って色水を作ったり、たたき染めをして遊んだりもしました。花の日ウィークが終わっても、子どもたちは今日も神様が下さった自然をたっぷり味わいながら過ごしています。

(幼稚園 梅田 桃香)

保育のSDGs

世界的に取り組まれているSDGs。幼稚園ではその一つとして、マイクロプラスチックの問題に取り組んでいます。これまで砂場遊びの遊具にプラスチック製の物を使っていましたが、子どもたちが遊ぶ中で摩擦によって削られ、マイクロプラスチックが園庭に流れ出ていることに気づきました。そこで大学敷地内の豊富な自然資源の一つである孟宗竹で遊具を作ることになりました。年長児と伐採し園に持ち帰り、子どもたちとのこざりて切り分けました。そこからは私たちが子どもたちの前で小刀を使って削ったり、保護者参加の行事で制作し、スコップやコップ、スプーンなど様々な遊具を制作しているところです。

これからも子どもたちと一緒に環境問題に向き合い、楽しみながらSDGsに取り組んでいきます。

(幼稚園

白石 恵史)



手作りのスコップやスプーン



年長さんが運びました！



のこぎりの扱いもお手のもの！



「みてみてー！きれいな花をみつけたよ。」

デイキャンプ

8月初旬、年長児が長い間心待ちにしていたデイキャンプを無事に行うことができました。いつも「あともう少し遊びたい。」と言いながら降園時間を迎えてしまう子どもも「今日は夜遅い時間まで遊べるんだよね！」と張り切って登園してきました。プールにたっぷり入って思い切り楽しんだり、ゲーンズ農園へ行き、この春、種を蒔いた枝豆や藍の葉を収穫しました。この秋には藍染めも予定しています。今はまだ「本当に染まるのかな？」と半信半疑の子どもたちですが、その表情は期待に満ち溢れています。また、子どもたちの中には園庭で作った泥だんごのため、布と針と糸を使って「泥だんご袋」を熱心に作る子もいました。その後のキャンプファイヤーでは火を囲みながら手をつないで踊り、最後に真っ暗な夜空に打ち上がる花火を見て、たくさんさんの歓声をあげていました。「デイキャンプ最高！また9月に友だちに会えるのも楽しみ！」と満面の笑みを浮かべる子どもたち。2学期以降はどんな楽しいことが待っているのでしょうか。今後も子どもたちと共に笑顔いっぱい充実した時を過ごしていけますように。

(幼稚園 坪山 菜津子)



みんなで夜空に燃え上がる炎を見つけたよ。

校勢概要

(2021.5.1現在)

専任教職員数

(単位:人)

Table with columns: 所属 (大学, 中高), 種別 (教員計, 職員計), 性別 (男, 女, 計), 学年 (1-4), 幼稚園, 法人, 計

学生・生徒・園児在籍数

(単位:人)

Table with columns: 校部科, 学年 (1-4), 小計, 計. Includes categories for 大学院, 大学, 高等学校, 中学校, 幼稚園.

財産目録

(2021年3月31日)

Table with columns: 一、基本財産, 二、運用財産, 三、負債, 四、正味財産. Includes sub-categories like 土地, 建物, 構築物, 図書, 車輛.

2020年度財務三表

★資金収支計算書

(単位:円)

Table with columns: 科目, 金額. Includes sections for 収入の部 (収入の部合計: 4,245,337,859) and 支出の部 (支出の部合計: 4,245,337,859).

★事業活動収支計算書

(単位:円)

Table with columns: 科目, 金額. Includes sections for 収入の部 (収入の部合計: 3,296,688,989) and 支出の部 (支出の部合計: 3,473,232,233).

★貸借対照表

(単位:円)

Table with columns: 科目, 金額. Includes sections for 資産の部 (資産の部合計: 10,414,866,281) and 負債の部 (負債の部合計: 2,895,350,926).

法人 Corporation

次期校長選任

学校法人広島女学院は、第194回理事会において、次期校長として渡辺信一現校長を選任いたしました。なお任期は2022年4月1日～2024年3月31日の2年間です。

会議報告

第191回理事会

2021年4月23日14時から開催。

【審議事項】

各種基金の2020年度決算報告及び2021年度事業予算、理事の競業について決定。

【報告事項】

学事報告、中高損害賠償請求事件の状況、退職金と慰労金の支給について報告。

第192回理事会

2021年5月21日14時から開催。

【審議事項】

2020年度事業報告案及び決算、2021年度内部監査計画及び理事の競業について承認。

【報告事項】

学事報告、2020年度内部監査報告、次期校長候補選考委員会の設置について報告。

5月定期評議員会

2021年5月26日14時から開催。

【選任事項】

任期満了及び子女卒業により欠員となる評議員について選任。

【諮問事項】

2020年度事業報告及び決算について了承。

【報告事項】

学事報告について報告。

第193回理事会

2021年6月25日14時から開催。

【報告事項】

学事報告、2020年度監事監査意見書及び2021年度監事監査計画、規程の制定、高大連携協定の締結、財務分析、バス停移設に伴う整備工事について報告。

第194回理事会

2021年7月30日14時から開催。

【選任事項】

次期校長候補選考委員長から、渡辺現校長を次期校長候補とする旨答申があり、再任を決定。任期は2022年4月1日からの2年間。

【審議事項】

大学学則の変更について決定。

【報告事項】

学事報告、規程の制定について報告。

2021年度保護者役員

大学協力会(敬称略・順不同)

会長 中原 友美
副会長 中沖 智香
理事 佐藤 紀美子
福本 利江
野田 久江
政木 政子
栗栖 美智子
桑野 真美

監事

大崎 二彌恵
石井 麻須美
小野 島恭子
原田 純恵
山本 千曲
平山 仙哉

中高PTA

会長 大崎 二彌恵
副会長 石井 麻須美
小野 島恭子
原田 純恵
山本 千曲
平山 仙哉

幼稚園みぎわ会

会長 下田 千春
副会長 吉原 千恵
会計 安達 優子
小柳 美恵

人事

採用

○中島 義和 (なかしま よしかず)
大学人文学部准教授
○紀村 修一 (きむら しゅういち)
大学人間生活学部 専任講師
○田中 優貴 (たなか ゆき)
大学人間生活学部 実験実習担当

退職

○関谷 弘毅 (せきたに こうき)
大学人文学部准教授
○野村 知未 (のむら さとみ)
大学人間生活学部准教授
○青山 翔 (あおやま しょう)
大学人間生活学部 専任講師

○貞金 麻衣 (さだかね まい)
大学人間生活学部 実験実習担当

教職員動静

召天 里恵子 様 (旧中高教諭)
加藤 里恵子 様 (旧中高教諭)
田淵 五十生 様 (旧中高教諭)
戸田 浩暢 様 (人間生活学部 児童教育学科教授)

寄附

9月20日受付分まで (敬称略・順不同)
新型コロナウイルス対策 緊急支援 30,000円
中吉 雄二 10,000円
日本ホーリネス教団 広島キリスト教会
小林 琢彦
坂内 登美子

同窓会からのお知らせ

同窓会バザー中止のお知らせ

2021年11月3日に予定されておりました同窓会バザーは今年も開催を見送ることになりました。

2022ホームカミングデーのお知らせ

テーマ 集える喜び
日時 2022年4月23日(土) 10:30~13:30
場所 リーガロイヤルホテル広島
会費 8,000円

お問い合わせ

同窓会事務局/TEL-FAX 082-221-1059 (月)~(金) 10:00~16:00

第36回クリスマスコンサート・メサイア中止のお知らせ

このたび、2021年12月19日(日)に予定しておりました第36回クリスマスコンサート・メサイアの開催を中止することといたしました。

今回で36回目を迎えるはずであったメサイアコンサートは、皆さまと一緒にクリスマスをお祝いする本学院にとって重要な行事です。

しかしながら、昨年来続いている新型コロナウイルス感染症の現状並びに皆様の安全を考慮した結果、誠に残念ではございますが、今年度も中止とさせていただきます。

楽しみにお待ちいただいていた皆様には大変残念なお知らせとなりますことをお詫びいたしますとともに、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

来年のクリスマスには再び皆さまと一緒にお祝いできますことを楽しみにしております。

学校法人広島女学院

お問い合わせ/法人事務局総務課 TEL:082-228-0380

- 坂平 顕子
- 嶋市 久美子
- 豊嶋 正子
- 松村 則子
- 森下 峯子
- 和田 忠三
- 5,000円
- 青木 清美
- 内田 ゆき
- 30,000円
- 深江 弘子
- 橋本 和枝
- 10,000円
- 近藤 幸美
- 津田 千寿子
- 得本 令子
- 山田 百合子
- 5,000円
- 野々山 圭子
- 30,000円
- 松尾 信孝
- 1,000円
- 佐藤 木綿子
- 200,000円
- 戸田 順子
- 30,000円
- 松本 滋恵
- 10,000円
- 松本 滋恵
- 20,000円
- 20,000円
- 山田 朝子
- 40,000円
- 福岡 美香
- 和田 絵莉子
- 20,000円
- 安宅 弘展
- 石田 直子
- 岡崎 博美
- 沖田 さやか
- 加藤 弘輝

広島女学院のために

- 川鍋 元広
- 重松 深雪
- 白濱 翔太
- 高見 知伸
- 俵 倫子
- 寺本 道生
- 中村 紀子
- 那須 泰
- 星野 晴夫
- 星野 ゆり
- 森永 裕子
- 森脇 正樹
- 山縣 泉
- 吉田 祥子
- 渡辺 信一
- 800,000円
- 250,000円
- 100,000円
- 250,000円
- 井上 富紀子
- 250,000円
- 山田 朝子
- 50,000円
- 佐々木 敦紀
- 30,000円
- 宮下 諭
- アイリス
- インターナショナルハウス
- 跡地整備費として
- 7,000,000円
- 広島女学院大学
- 学生自治会アイリス
- アイリスセンター維持のため
- 600,000円
- 20,000円
- 1,500,400円

- ガウン・帽子・フード
- 保管料として
- 285,069円
- 広島女学院大学協力会
- クラブハウス棟無線LAN
- 構築費として
- 383,900円
- 広島女学院大学
- 学生自治会アイリス
- グローバル教育の発展・充実
- 10,000円
- 山地 佐和子
- 食糧支援
- 30,000円
- 山本 美香
- 30,000円
- 中学バレー部活動充実のため
- 30,000円
- 顧問矢野文雄先生
- 1983年 中学卒業
- バレー部一同
- 電子錠付門扉改修費用の一部として
- 200,000円
- 広島女学院ゲインズ幼稚園
- みぎわ会
- 222,000円
- 卒園記念として
- 2020年度卒園生一同
- 広島女学院ゲインズ幼稚園
- 2020年度卒園生一同
- 現物寄附
- (寄贈品として)
- ローテーブル
- 湊 晶子
- 本棚(2台)
- 湊 晶子
- 整理ダンス
- 湊 晶子
- シングルベッド
- 湊 晶子
- 姿見
- 湊 晶子
- 食卓セット
- 湊 晶子

- 顕微鏡(Primo Vert with Binocular Tube)
- 土谷 佳弘
- (学生の研究時の使用)
- 学生用ノートパソコン
- 広島女学院大学
- 管理栄養学会
- (寄贈図書として)
- 「人間のための経済」
- 阪南大学
- 「成瀬仁蔵の婦一思想と女子高等教育」
- 青山学院大学
- 教育人間科学部
- 大森 秀子
- 後藤 勝彌
- 「原爆を見た少年」他1冊
- 柴一実
- 「戦後日本の理科教育改革に関する研究」他2冊
- 「柳林のヤマセミたち」他1冊
- 小林 光生
- 「妖精の女王」他1冊
- 福田 昇八
- (基礎研究)
- 電動倒立顕微鏡Axio Observer Z1
- 土谷 佳弘
- ディフュニットフォーカス
- 土谷 佳弘
- 顕微鏡デジタルカメラシス
- テム(制御ワークステーション、モニタ、ソフトウェア)
- 土谷 佳弘
- 「ステージトップインキューベータユニット」
- 土谷 佳弘

編集後記

10月1日には本学院も創立135周年を迎えました。激動の時代・社会の変化にあわせて変えていかな

なくてはならないものがある一方で、創立以来守り続けられている変えてはいけな

広瀬ハマコ 記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・Bゲインズ先生から直接薫陶をうけられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽力されました。

1988年にご召天。その後、私財は先生のご遺言により本学に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。

- 一、本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨学金を支給する。
- 二、留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。

応募については次の通りです。みなさま奮ってご応募ください。


- 応募条件／本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者
- 選考／本人申請により3月・9月に行います
- ◎ 詳細お問い合わせは、法人事務局財務課へ

082-228-0387

ご寄付のお願い

本学院はクレジットカード決済に対応したインターネットからの寄付金募集を開始しました。皆さまには引き続き格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

詳細は学校法人広島女学院ホームページ (<https://www.hju.ac.jp/houjin/donation/>) をご覧ください。



コチラからアクセスいただけます

お問い合わせ／財務課 TEL:082-228-0387

2021年度 ゲインズ学術奨励受賞者

- 【人文学部】
 - 国際英語学科：江口 夏帆
 - 日本文化学科：下村 晃枝
- 【人間生活学部】
 - 生活デザイン学科：藤田 真由
 - 管理栄養学科：中本 実香
 - 児童教育学科：今井 あい

2022年度 学生・生徒・園児 募集要項

キリスト教精神に基づいた教育を目指して

大 学

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1 電話:082-228-0386(代) FAX:082-228-7815

◆募集人員

〈人文学部〉

- 国際英語学科[GSE*コース・英語文化コース]…………… 65名
- 日本文化学科…………… 40名

*GSE…Global Studies in English

〈人間生活学部〉

- 生活デザイン学科…………… 65名
[生活プロデュース/被服・ファッションデザイン/インテリア・住居・建築デザイン/地域デザイン]
- 管理栄養学科…………… 70名
- 児童教育学科[幼児教育コース・児童教育コース]…………… 90名

◆入試日程等 (詳しくは、ホームページ・入試ガイドをご覧ください。)

(2021年11月以降実施の入試日程)

入 試 区 分	出 願 期 間		試験 日	合 格 発 表
	インターネット出願期間	出願書類提出締切		
指定校制推薦入試	2021年11月1日(月)～11月15日(月)	ホームページ・入試ガイド参照	2021年11月21日(日)	2021年12月 1日(水)
公募制推薦入試 第1回	2021年11月1日(月)～11月15日(月)		2021年11月20日(土)	2021年12月 1日(水)
公募制推薦入試 第2回	2021年12月1日(水)～12月13日(月)		2021年12月19日(日)	2021年12月24日(金)
特 待 生 入 試	2022年 1月5日(水)～12月25日(火)		2022年 2月 2日(水)	2022年 2月16日(水)
一般選抜入試前期日程	2022年 1月5日(水)～ 1月25日(火)		A日程:2022年2月2日(水) B日程:2022年2月3日(木) C日程:2022年2月5日(土)	2022年 2月16日(水)
一般選抜入試後期日程	2022年 2月16日(水)～ 3月1日(火)		2022年 3月 6日(日)	2022年 3月11日(金)
大学入学共通テスト 利用入試	A日程:2022年1月 5日(水)～1月28日(金) B日程:2022年2月16日(水)～3月 1日(火) C日程:2022年3月 9日(水)～3月18日(金)		大学入学共通テスト 2022年1月15日(土)・16日(日) 1月29日(土)・30日(日) (本学での個別学力試験は課さない)	A日程:2022年2月16日(水) B日程:2022年3月11日(金) C日程:2022年3月23日(水)

*オープンセミナー入試、自己アピール入試の本年度の出願期間は終了いたしました。*上記以外にも、特別入試(社会人、帰国生徒、外国人留学生)、転入試・編入試も行っております。

大 学 院

【資料請求】 広島女学院大学 入試課

電話:082-228-8365(直) URL▶<https://www.hju.ac.jp/> E-mail▶nyushi@gaines.hju.ac.jp

◆募集人員 (男女共学/社会人・外国人留学生可、定員は春季・秋季計)

〈言語文化研究科〉

- 日本語文化専攻 修士課程 …… 6名
- 英米言語文化専攻 修士課程 …… 6名

〈人間生活学研究科〉

- 生活文化専攻 修士課程 …… 6名
- 生活科学専攻 修士課程 …… 6名

◆春季入試日程

出 願 期 間 :2022年2月14日(月)～2月21日(月) 郵送必着

試 験 日 :2022年3月 3日(木)

合 格 発 表 日 :2022年3月11日(金)

中 学 校

〒730-0014 広島市中区上幟町11-32
電話:082-228-4131 FAX:082-227-5376

◆募集人員 /200名(5学級)

◆応募資格 /2022年3月 小学校卒業見込みの女子。

出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は他の手続きあり。

詳細は「2022年度生徒募集要項」を参照のこと。

◆出願期間 /2021年12月6日(月)より2021年12月31日(金)

◆出願方法 /本校HPより出願の手続きを行い、期日までに必要書類を郵送のこと。

◆試験期日 /2022年1月22日(土)

◆選考の方法 / (1)筆記試験 (2)提出書類の審査

※本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、面接試験は実施しません。

◆合格発表 /2022年1月23日(日)

幼 稚 園

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話:082-228-6635 FAX:082-224-3141

◆募集人員 /3歳児 60名 4歳児 若干名

◆願書受付 /2021年10月 1日(金) 本年度は終了しました。

◆入園面接 /2021年10月13日(水) 本年度は終了しました。

◆入園手続 /2021年10月18日(月) 本年度は終了しました。

